

第24回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成22年1月26日(月) 午前10:00～11:30
2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3号館5階 COM倶楽部会議室
3. 委員の出席 委員総数 10名
- 出席委員 8名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、牧野直子、桑田政美、井上光央、
稲井信也、中 宏、加藤真知子、須貝昭子
以上8名
- 放送事業者側出席氏名 大平麻由美(編成課長)
野間 耕平(編成課員)
岡田 堅治(取締役)
4. 議 題 1) 番組 オンガクノススメ職場体験スペシャル三中編
- 2) 他の番組について
5. 議事の概要 稲垣委員長が議長となり、委員8名の審議となる。

6. 審議内容

- 1) 番組 オンガクノススメ職場体験スペシャル三中編 平成 21 年 11 月 18 日(水)
午後 5:50~6:20(再放送 当日 10:00~10:30)

(1) 事務局より番組説明

当社では毎年、市立中学校 2 年生の職場体験学習を受け入れ、学校紹介番組を制作してもらっている。

今年も 5 校から 8 名を受け入れ、生徒自身が友達・先生・学校関係者など幅広い分野から自分の学校や地域について話してもらえる「人」を探し、取材を申し込み、質問内容を考え、インタビューしたものとリクエスト曲を組み合わせ構成。生の中学生生活を発信してもらい、ラジオを通じ「伝える」ためにはどうしたらいいのか体験してもらっている。

今回は箕面市立第三中学校 A 君が取り組んだ番組。

校長先生・野球部顧問の先生・野球部の仲間ほか、日頃学校の中庭に花を植えている保護者グループや P.T.A 会長などに果敢に取材を申し込み、番組に広がりを持たせている。

本番組は、30 分番組を 16 分に短縮(音楽部分をカット)したものである。

(2) 審議

委員：オンガクノススメの番組の中で職場体験スペシャルというタイトルであるが、音楽の紹介なのか学校紹介なのか主旨がはっきりしなかったが、今取り組みのことをきかせてもらいわかった。

事務局：通常のオンガクノススメはリクエスト曲を紹介する番組である。

委員：いろいろな曲を紹介する時に曲だけでなく、曲に対する思いとか、みんなに聞かせたい曲とか、思い出とか、コメントがあるととっても良くなるのではないかと。
生徒が自ら取材し番組構成までやったのは立派だと思う。

委員：インタビューについて事前準備はやったのか。

事務局：インタビューの直前に何を聞くのか申し出た。

委員：インタビューがギクシャクしているのはその為だったのか、もう少し時間をとればいいのではないか。

インタビューの場合は何かを用いてその上でその事について又聞いてみるということが大切だと思う。今回のものはっきりしていいと思ったがいくらきれいに聞こえてもリスナーには不満が残るのではないかと思う。

インタビューの場合は聞かせているんだという意識が大切である。今回の場合それがなかったのではないか。二人の会話で終わってしまったのではないか。

校長先生(女性)のインタビューの中で、昔剣道をやっていたというが、我々の年代だと昔女性は薙刀なのにどうして?という疑問がわいた。それを受けて、問いかけというように番組を聞かせるものがもう少しあればいい。又バレー部が同学年3名しかいないと聞いていたが、3人でこんなことをやっているんですよというように、聞かせる意識をもってやるのが大切だと思う。

インタビュアーの敬語の使い方がばらばらであった。

敬語については校長先生はじめ学校関係者であり、使わなければ使う必要もなく普段通りで良かったのではないか。

委員長：もう少し広く掘り下げたフォローがほしかったということですね。

委員：インタビュアーが複数であってもよかったのかなあ。学校関係者以外に地域の声もいれたほうがいいのではないかと思う。
局としての感想も聞かせてもらいたかった。

委員：A君の緊張した感じとか、普段聞きなれているパーソナリティの声ではなく若々しい声で、又セリフを読んでいる声も中学生が一所懸命やっているところが出せて番組的には評価できるのではないかと思う。中学生にいろいろ求めてもあれが精一杯ではないか、よくやったと思う。最後に又この局に帰って来たいと言っていることなど初々しく好感もてた。

オンガクノススメと職場体験がどのようにリンクされているのが興味があったが、他の人の番組は聞いてないのでわからないが、もう少し音楽(曲)に対する思いなどをつっこんで聞いてみたら良かったのではないか。

母校を皆が愛していることが伝わったのでいい番組であったと思

う。

委員：オンガクノススメの対象者がわからない。
時間が一定であるのでリスナーが決まってくるのではないですか。

事務局：J ポップ中心のリクエストが多数あり、中・高・大学生がターゲットであり、夕方の5:50からと夜10:00からで丁度学校から帰った時と、塾から帰った時刻に当たるようにしています。

委員：これ以外に音楽番組はありませんか。

事務局：特定の音楽番組はないが、ワイド番組の中でリクエストなどの音楽はある。

職場体験については今回オンガクノススメとリンクした。
毎年やっているのは中学校の卒業式に前もって卒業生に色々な思い出を語ってもらいリクエスト曲とともにオンガクノススメ卒業スペシャルとして放送している。

委員：もう少し子どもが構成する番組が増えるといいと思う。
ただ、顧客志向に立つことが大切だと思う。リスナーをもっと大切にすべきである。リスナーに対しこれだけは解ってもらいたいと願う親切心が重要ではないかと思う。
もっと子どもたちの若々しい活躍の場があったらいいと思う。

委員：貴局はコミュニティエフエムだということ。素人あるいは、市民のしゃべり場なんです。この番組を中学生が1人で構成していると聞き驚いてる。
今後は生の声をプロが拾いながら曲の想いを言ってもらいながら放送する。
三中の中で放送されましたか？

事務局：番組宣伝ポスターを作らせ校内に貼ってもらうように指示した。
番組については放送用コピーを学校側に渡したが放送したかどうかは確認していない。

委員：30分番組であるので、昼休み時間にでも放送してくれるようお願い

いしてフォローしなければダメ。

当局の宣伝にもなり、職場体験の効果の学校での発表の場でもあるので、そこまでフォローしてやると聞く人も増えるのではないか。

委員長：おっしゃる通りです。

当局のフォローが十分でなかった。今後はより一層この点をお願いしたい。

2) その他番組に対する意見

委員：この3月10日に箕面有馬電気軌道（現阪急）100周年ということでいろいろとイベントがあるが、タッキー816は番組編成において取り上げているものはあるのか？

事務局：まちの情報箱の取材番組の中で放送を予定しております。あとは郷土資料館の館長さんが月1回出演される番組でお話いただきます。

委員：箕面有馬電車唱歌とか動物園唱歌とか子供博覧会唱歌の曲をぜひ紹介してほしい。又まちの情報箱の「箕面の先輩おじゃまします」のところで106才の方が出ておられるが100周年ということで、当時のことを覚えているかどうかかわからないが、以前に高齢者の方で動物園唱歌を空で覚えていて歌われたこともあり感心したのでぜひ紹介してほしい。もう一つはプロの方に出演してもらった時のギャラはどうなっているのか。基準はありますか。

事務局：ゲストで出演されている方にはほとんどお支払いしていない。状況を説明してノーギャラである。

委員：プロとしてやっている方には番組の評価を高めていく必要もありそれなりの対価をお支払いするのは大事ではないか。これでは紹介するのも限定される。

委員：プロが付きしっかりした番組を作ってこそスポンサーが付く。義理人情のスポンサーだけではやっていけない。プロはプロで金額の大小をとわずきちっとやっていくことが今後は大切だと思う。

委員：県域放送とコミュニティ放送では違うので同じようには出来ませんが、要だけはきちっとしていかないと誠意・善意だけで企画しているとそれだけの内容になってしまう。

委員：市民活動団体でも人に来てもらうにも、交通費くらいはお支払いしないといけないと思うので、自腹でというのはどうなのでしょう。

委員：収入を確保するのにいろいろ苦労されていると思うのですが、収入を上げるためにどのような協力出来るのかを考える必要がある。あるエフエム局の例ですが、サポーターズクラブを作って様々な活動をしている。又市民全出演の番組作りを考えてもいいのではないかと。リスナーを増やす事をしていく必要がある。

事務局：開局当時から『市民総出演体験ラジオ』としてやっている。

委員：前回ゆずるくん体操を作ったらどうかという話が出たが、それをDVDにして販売するのも収益になる。

委員：箕面にはNPOがたくさんあるのでもっと連携をとるといい。色々なやり方があると思うが、ただ出演して聞いてもらうだけでなく、何かの役割を担ってもらいたいのではないかと。

委員：応援団を増やしていくには、皆さんに参画して積極的にかかわっていくような仕掛けをしてもらいたい。

委員：市民活動の団体がタッキーに出るメリットは、仲間に聞いてもらえるのと広報になる事で、そのような内容の放送でも、仲間や家族に宣伝するのでリスナーを増やす事につながるのと、お互いに相乗効果が得られるのではないかと思います。

委員長：応援団をつくっていただければ有難い

委員：以前お話していた専用ラジオはどうなりましたか？
活動センターで放送していますが、今何箇所あって、今後どの程度増やしていくのですか？

事務局：専用ラジオについては、箕面市が作ったもので、箕面ロータリークラブさんにお声かけしてもらって、12ヶ所あるコミュニティセンターに設置してもらっています。設置していただいた後、去年の10月11月にタッキーたんけん隊スペシャルとし、12ヶ所のコミュニティセンターに『放送中』のプレートを配ってまわらせていただきました。あと、避難所にもあると聞いています。

委員：いろんな所に設置して1人でも多くの人に聞いてもらう環境を作ってほしい。

委員：高齢者にはラジオがいいのですが、高齢者が楽しんで聞ける番組があればと思います。

委員：専用ラジオは選局の出来ない人のいる所に設置する方がいいので、例えば、毎日定時に高齢者の方が聞くような番組を放送して、モニター制度を作って聞いてもらってもいいのではないか。それによって定着もしていくのではないですか。

委員：常に同じ時間に聞いてもらうには、ゆずるくんを活用して定時に体操をするのがいい。

委員：放送を3日間聞かなかつたら連絡があるとか、何か仕組みがあるといい。難しいですが、放送を聞くことと高齢者（孤独死問題）を結びつける仕組みが出来ればいい。

事務局：まちの情報箱の裏面に掲載しているのですが、いつもいざもタッキーをとということで、緊急災害情報サイトをつくりました。携帯電話からも見られるサイトで、ラジオとウェブ上で情報発信をしていきますので、ご活用いただければと思います。

委員長：いろいろご意見いただいたことを実行し改善していきたいと思います。時間も参りましたので閉会とします。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 22 年 1 月 26 日

みのおコミュニティ放送株式会社

番組審議会